

くずまき 議会だより



もっと町民に身近な議会へ
地域の要望を議場で聴く

2p

今ここが聞きたい ~3議員が町政を問う~

6p

葛高生と意見交換 ~ふるさと懇談会~

10p

今後の交流に大きな期待 ~常任委員会・台湾視察~

12p

笑顔のつどい 16



表紙

葛巻町柔道協会
(関連16P)

子育て支援の充実へ

関連3条例を整備



葛巻保育園と葛巻小学校が連携して行った「焼き芋会」の様子

12月定例会議で、条例の制定や一部改正などの審議が行われ、原案どおり『決定』しました。主な内容は次のとおりです。

条例制定・改正

●子育て支援関連3条例

平成27年4月1日から始まる、子ども・子育て支援事業を実施するために、新たに3条例を制定しました。

①町が新たに認可する保育事業等の設備や運営に関する基準を定めまし

た。
②町の確認を受けて国からの給付費を受けるために、認定こども園などが守るべき運営に関する基準を定めました。

③放課後児童クラブの設備や運営に関する基準を定めました。保護者が仕事で、昼間家庭にいない全児童が対象になります。

(※)家庭的保育事業等

町の認可を受けた保育者の居宅などで行われる保育事業など。

地域の要望を 議場で聴く

「葛巻町議会総合条例」では、請願や要望などの審査において、提案者の意見を聴く機会を設けるように努めることを定めています。

本定例会議に、小田部落会（門場政一会長）から地域の振興に関する要望書の提出がありました。12月8日、議場で行われた輝くふるさと常任委員会で、門場会長から要望書の説明を受け審査に臨みました。地域の要望を、議場で要望者から直接聴くことは初めての試みです。



要望内容を説明する
門場政一さん

小田部落会の要望（要約）

- 旧小田小学校跡地に、養護老人ホームや定住住宅などの公共施設を設置。
- 町の防災センター機能を備えた、第6分団屯所の整備。

委員からは、「公共施設を地域のよりどころにして活性化につなげる」とは、公益上重要である」、「町全体をみて、防災機能を持ったセンターを、町中心部のほかに四カ所程度は必要」などの意見がありました。審査の結果この要望は『採択』と決定し、町当局に要望の内容を送りました。議会では、より身近な議会を目指して、町民の皆さんの声を聴く機会を今後も設けていきます。

請願

●米価安定対策等に関する請願書

【紹介議員】

辰柳敬一 議員



【提出者】

新岩手農業協同組合

【内容】26年産米の価格の下落などで農家の経営に大きな影響を及ぼすため、早急な対策を講じる意見書を、国へ提出を求める請願。

財産取得

●患者バス(29人乗り)

◇契約額 815万円

◇納期 27年3月28日

◇契約相手 岩手日野自動車(株)(盛岡市)

【審査結果】

提出された請願は、『採択』と決定し、内閣総理大臣のほか衆参両院議長などに、早急な対策を求める意見書を提出しました。

小屋瀬小校舎などを耐震補強

安全・安心な教育環境を整備

12月定例会議で、26年度補正予算の審議が行われ、原案どおり『決定』しました。
主な内容は次のとおりです。

26年度補正予算

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	1億9551万円	59億8019万円
特別会計		
国民健康保険事業	4698万円	11億4585万円
簡易水道事業	107万円	5億6357万円
後期高齢者医療事業	397万円	7144万円
病院事業(収益的収支)	△1157万円	13億8695万円

《主な予算の使いみち》

- 小屋瀬小学校、江刈中学校校舎などの耐震補強工事…1億357万円
- 葛巻病院電子カルテシステムの更新…817万円
- 飼料自給率強化機械(自走式ハーベスター)購入助成金…530万円
- 定住促進住宅建設用地(五日市地区)購入費用…250万円
- 源泉所得税の徴収漏れによる納付金…253万円

補正予算

一般会計に1億9551万円追加し、総額を59億8019万円としました。

一般会計の歳入では、上外川国有林(※)分収造林の立木売り払いによる財産収入1529万円、平成22年12月の大雪による町有林の雪害被害に対する森林国営保険金1186万円などの収入がありました。
各会計の補正額と主な予算の使いみちは、上の表のとおりです。

(※)分収造林
造林者(町)が、契約により国有林に木を植えて一定期間育てて販売し、その販売代金を国と造林者(町)とで契約した一定の割合(国2割町8割)で分け合います。

【主な質疑】

定住促進住宅
設置場所は
総務
企画

問 江刈地区に新たに計画している、定住促進住宅の設置場所は。
答 五日市小学校の近隣に、アパート形態による定住促進住宅を整備する考えです。

源泉所得税の
徴収漏れ対策は
総務
企画

問 建築士などの個人事業主に支払う報酬などの、源泉所得税の徴収漏れに対する今後の対策は。
答 支払先の個人事業主を源泉徴収の必要がない法人と誤認したため、約218万円の徴収漏れがありました。徴収漏れがあった事業者に所得税の返還を依頼して、返還の承諾を得ています。

今後の対策は、会計システムの改修や支払いの審査を強化し、定期的な職員に周知徹底を図ります。

江刈簡易水道
工事の状況は
建設
水道

問 江刈簡易水道整備工事の進み具合と、今後の計画は。
答 1件が未発注の状況ですが、12月中に発注する予定です。現在、発注した工事の約60%が完成しています。



新たな水道管の設置工事が進む荒沢口地区

議員の判断(議決結果)

12月定例会議で、全議員の賛成で決定した議案

議案番号	議案名	議決結果	山崎邦廣	大平守	柴田勇雄	鈴木満	姉帯春治	小谷地喜代治	山岸はる美	辰柳敬一	高宮一明	中崎和久
議案43号	平成26年度葛巻町一般会計補正予算(第5号)…1億9551万円を追加して予算額を59億8019万円に。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案44号	平成26年度葛巻町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)…4698万円を追加して予算額を11億4585万円に。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案45号	平成26年度葛巻町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)…107万円を追加して補正後の予算額を5億6357万円に。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案46号	平成26年度葛巻町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)…予備費から280万円を施設管理費に組み替え。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案47号	平成26年度葛巻町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)…397万円を追加して予算額を7144万円に。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案48号	平成26年度葛巻町国民健康保険病院事業会計補正予算(第2号)…給与費など1157万円を減額して、収益的収支の予算額を13億8695万円に。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案49号	一般職の職員給与に関する条例等の一部を改正する条例…一般職の給料月額及び勤勉手当や、議会議員及び常勤特別職の期末手当の引き上げ。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案50号	葛巻町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例…町が新たに認可することになる、家庭的保育事業等の設備運営に関する基準。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案51号	葛巻町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例…町の確認を受けて国からの給付費を受けるために、認定こども園や保育園などが守るべき運営に関する基準。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案52号	葛巻町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例…放課後児童クラブの設備や運営に関する基準。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案53号	葛巻町国民健康保険条例の一部を改正する条例…出産育児一時金の支給額の引き上げ。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案54号	財産の取得に関し議決を求めることについて…患者輸送バスの更新。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
請願1号	米価安定対策等に関する請願…26年産米の価格の下落などで農家の経営に大きな影響を及ぼすため、早急な対策を講じる意見書を、国へ提出を求める請願。	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
要望9号	小田部落会からの要望書…小田地区に定住住宅などの公共施設の設置、第6分団屯所整備などの要望。	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発委2号	米価安定対策等に関する意見書の提出について…請願第1号の採択を踏まえて、その趣旨に沿った意見書を国などに提出。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※ ○は原案に賛成。
※ 議長は採決に加わりません。
☆ 賛否が分かれた議案はありませんでした。

議会総合条例
ピックアップ
②

「葛巻町議会総合条例」の内容のポイントを、お知らせします。

通年の会期制を導入!!

- ☆ 議会の会期を1年間に固定しました。
毎年1月20日から翌年の1月19日まで、1年を通して会期となります。(翌年度以降は自動更新)
- ☆ 議会の招集権が町長から議長へ移行しました。
議員選挙後の任期の開始日のみ、町長が招集します。それ以外は議長の通知により、会議を開きます。



1年を通じて議会活動ができるんだね。



やまざき くにひろ 山崎 邦廣 議員

12月5日に、3議員が一般質問を行いました。一般質問は、町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などを幅広い視点から報告や説明を求め質問します。議員の質問できる時間は、1時間以内です。議事録の内容は、町のホームページと議会事務局で閲覧ができます。

問 遊休農地の活用どう進める

答 農地コーディネーターと連携強化

議員 農業振興の取り組みを伺います。

町長 平成25年度末の遊休農地面積は約47ヘクタールで、町の農地面積(4285ヘクタール)に占める割合は1.1%です。約20年前に全農家を対象に行った調査では、耕作が行われていない農地が105ヘクタールでした。このことから、平成12年度に「農地利用集積促進員」1名を配置し、農地の出し手農家と受け手農家との調整を行って担い手農家への貸し付けを進めるなど、遊休農地の発生防止や解消に努めています。

平成20年度には県の認可を受けて、農地取得後の経営面積「50アール以上」であった要件を「10アール以上」に緩和し、新規就農者などが農地を

取得しやすい環境を構築しました。平成23年度からは、循環型農業の推進、集落の景観維持などを目的に、遊休農地へ菜種の作付けを推進しています。また、使用済みの菜種油を含む食用廃油の回収を行い、バイオディーゼル燃料として再利用する取り組みを試験的に進めています。今後も、遊休農地の解消対策と併せた資源循環型の農業の推進に取り組みみます。

議員 遊休農地を活用した農業振興策は。

町長 国では、担い手などへ農地の集約を進める農地中間管理事業を創設し、農地集積の調整機関の役割を担う「農地中間管理機構」が、新たに岩手県に整備されました。農地中間管理機構では事業を円滑に推進していくために、農地の受け手

農家と出し手農家との調整を進める「農地コーディネーター」を新たに配置しました。本町の出身者である農地コーディネーターと連携を密にして、規模拡大を希望する担い手農家に農地が集積されるように進める考えです。借り手が無く、すぐに集積が難しい農地は、菜種の作付けなどを推進して、遊休農地の発生にならないよう貸借の調整を図ります。

園芸農家や酪農以外の畜産農家に対して、国や県の補助事業等を活用しながら、効率的な経営と担い手の確保に向けた支援の充実を図ります。



遊休農地への作付けを推進している菜種(土谷川)

議員 畜産、園芸農家の後継者の育成状況は。

町長 後継者が希望を持って農業に取り組める環境を構築するために様々な支援や対策に取り組んできましたが、農家戸数、生産量とも減少傾向にあります。

議員 職員が希望するよう、これまで再三にわたって求めています。このことから、早期に「60歳定年制」に移行するよう、これまで再三にわたって求めています。このことから、早期に「60歳定年制」に移行するよう、これまで再三にわたって求めています。

議員 職員が希望するよう、これまで再三にわたって求めています。このことから、早期に「60歳定年制」に移行するよう、これまで再三にわたって求めています。

問 60歳定年制の移行時期は

議員 職員の「59歳勧奨一斉退職」問題について、無年金、無収入期間が生ずることから、早期に「60歳定年制」に移行するよう、これまで再三にわたって求めています。このことから、早期に「60歳定年制」に移行するよう、これまで再三にわたって求めています。

議員 職員の「59歳勧奨一斉退職」問題について、無年金、無収入期間が生ずることから、早期に「60歳定年制」に移行するよう、これまで再三にわたって求めています。このことから、早期に「60歳定年制」に移行するよう、これまで再三にわたって求めています。

答 平成27年度から移行する考え

町長 これまで59歳に達する職員に対しては、平成16年度から勧奨退職の書面を本人に直接交付し、実施してきました。当時、国は緊縮財政や三位一体改革などの断行から地方交付税の大幅減額を続け、一方、町では市町村合併への対応で「当面自立」の方向性から持続可能な行財政基盤の再構築に迫られていました。このような背景から大幅な歳出削減が求められ、当時策定した行政改革大綱により職員数と人件費の削減策の一環として実施しています。また、55歳以上の職員(26年度)が22%を占める、人事管理上の課題もありました。このような状況などを踏まえて検討した結果、平成27年度から「60歳定年退職」に移行します。

問 地方交付税の見通しは

答 大幅な減額は見込まれない

議員 向こう3年間の地方交付税の見通しや自主財源の確保対策、主要基金への積立てなど町財政運営状況と27年度主要新規事業を伺います。

町長 国では「地方の創生」と「人口減少対策」を喫緊の課題として捉え、地方財政措置を手厚く検討する考えから、当面、地方交付税の大幅な減額は見込まれないと推測します。

自主財源の根幹となる町税は、町幹部職員で構成する特別徴収対策本部や県滞納整理機構との連携から徴収率が向上し、引き続き貴重な税収確保に努めます。併せて「ふるさと納税」や「ふるさと基金」制度の周知を図り、地域振興施策の財源づくりに努力します。

全基金の積立ては、25年度末に4億3400万円となり、10年前と比較



しばた いさお 柴田 勇雄 議員



27年度予算の編成作業を行う町職員



やまぎし み 山岸はる美 議員

問 酪農経営の支援策は

答 補助事業の活用で経営体質を強化

議員 昨年9月に実施した酪農意向調査の結果を踏まえた、酪農の支援策をどう考えていますか。

町長 この10年間で、生乳生産量16.4%、経産牛頭数15.6%、搾乳農家数32%（72戸）減少しています。この状況の解決策を検討するためにプロジェクトチームを立ち上げ、「新葛巻型酪農構想」の作成に着手しました。

この構想を取りまとめるための判断材料とするために全酪農家を対象に意向調査を行い、回答率は90.5%でした。調査の結果、後継者や労働力不足、生産資材の高騰、乳価の低迷などの様々な問題が分かりました。一方では、ゆとりある酪農経営を望む回答が多く、コントラクターなどによる農作業外部化組織への関心が高い結果でした。意向調査の結果を踏

まえて、「新葛巻型酪農構想」で支援策など含めた今後の方向性を盛り込む予定です。地域の経営規模拡大と高品質生乳生産などのモデルとなる「リーディング牧場」の創設や農作業外部化組織の育成などを中心に調整を進めています。

この構想を基本にし、国の補助事業などを活用しながら、経営体質の強い酪農家の育成を図り、町の基幹産業である酪農の維持や拡大につなげる考えです。



細断したデントコーンを梱包する機械作業の様子

問 保育ニーズの充実の考えは

議員 病児保育、園児の預かり時間の見直しや、老朽化した保育園の改修計画は。

問 町郷土資料館整備の考えは

議員 町の郷土資料を展示する施設整備の考えは。

答 総合的な視点で支援内容を検討

町長 安心して児童を預けられる環境の一つとして、病児保育施設の必要性は認識しています。今後の社会動向などを踏まえ、総合的に検討する考えです。

預かり保育の受け入れ時間の前倒しは、各園とも保護者などからの要望は無い状況ですが、今後は望ましい子育て支援のあり方を考えます。

各園の施設の状況は、五日市保育園の築45年が最も古く、他の保育園も築30年以上を経過しているため、施設の延命化対策に努めています。今後の整備に当たっては、多

答 現有公共施設での利活用などの考え

町長 現在、葛巻小学校の空き教室と旧小田小学校に郷土資料を展示し、適切な管理運営に努めています。

民俗資料は、町の歴史や産業を物語る貴重な文化遺産であり、後世に引き継ぐために適切な保存が必要と考えますが、新たな施設整備の予定はありません。

今後、町の公共施設などの老朽化が進んでいくため、総合的な視点で整備を検討する考えです。

本会議で参考人に聴く

※参考人制度
地方公共団体の事務に関する調査など、利害関係者や学識経験者の出席を求め、意見を聴いて参考にし、議会審議の充実を図るための制度。

参考人
参議院議員
平野 達男氏
岩手県議会議員
工藤 勝博氏

12月定例会議で**※参考人制度**を活用して2人の参考人を招き、今後の町づくりなどの参考にするため、2議員が質問を行いました。



平野参議院議員

人口減少が進行 今後の防災対策は

【質問者】

辰柳 敬一 議員

問 人口減少が進む中、東日本大震災を踏まえた今後の防災対策の考えは。

答 東日本大震災は世界を揺るがした災害で、東京電力福島第一原発事故

平野参考人に質問

で大量の放射能を放出する事態が起きました。私が復興大臣の時に思ったことは、住宅の建設や街並みの建設と併せて、何と言っても生業の復活が大事だと感じました。そして、被災地の復興には、内陸との連携を今まで以上に図っていくことが重要です。災害があった場合に、市町村が連携して互いに助け合う仕組みをもっと強固にしていくことが大事だと思います。

今後は、市町村の人口が減っていきます。減るといふ前提で、地域の活性化をどうやっていくか、地域の絆をどうやってつかんでいくか、そういう雰囲気をつくることが大切だと思います。自分たちのことは自分たちでやっていく考え方で臨んでください。国では、地域の方が安心して暮ら



工藤県議会議員

山村地域における 農業活性化策は

【質問者】

姉帯 春治 議員

問 人口減少や高齢化が進む中、山村地域における農業の活性化対策の考えは。

答 昨年7月に県議会の農林水産常任委員会、くずまき高原牧場や葛巻町森林組合の取り組みを調査しました。県内でも先進的な取り組みを行っ

より身近な議会を目指し、多くの皆さんの声を聴く機会として、今後も参考人制度を活用していきます。

ていました。地域資源を有効に活用して産業として振興していくことや、地域が持っている資源を高めていくことが重要だと感じました。

今後の酪農経営を考えた場合に、個人の規模拡大には一定の限界があると考えます。法人や組織で行う方法や、個々の経営を組み立て直すことが重要だと思います。地域にある資源をうまく活用しながら、次の世代に向けて、今やらなければならぬことだと強く思います。

私達の思いを町政に!!

私自身、議会のことをよく理解しておらず、あまり関係のないものだと思っていました。しかし、小学生から高齢者まで幅広い意見を取り入れてくださっているというお話を聞き、少し緊張がとけ意見を自由に話すことができました。



遠藤 詩織さん
(2年・生徒会副会長)

議員の方々は町の発展のために様々な活動をしていることを聞き、私も今回の懇談会を通して、少しでも葛巻町そして葛巻高校のために貢献していきたいという思いがより一層強くなりました。

懇談会を終えて

葛高祭を町と連携して実施することに関して懇談させていただきましたが、来年の葛高祭がどのようなのか今から楽しみです。今年以上の来場者数にして盛り上げていくために、私たち生徒会も頑張っていきたいと思っています。



千葉 くるみさん
(1年・生徒会副会長)

台湾への研修などを考えていることは、とっても喜ばしいことです。異文化に触れることで、広い視野を持てるようになったと先輩が話しています。このような研修が充実することで、葛巻高校がさらに発展することを願っています。

ドイツ研修の継続、さらには台湾との交流といった海外派遣は私たち高校生にはとても嬉しいことです。私もドイツ研修に参加させていただき異文化を肌で感じ、貴重な経験をすることができました。海外への研修参加は、高校生にとって人生の大きな転機につながっていくと思います。このような環境で高校生活を過ごすことができることは町の方々の理解と協力があるからです。常に感謝の気持ちを忘れず、その思いを行動に移していくことが大切だと改めて感じました。



三澤 渉さん
(2年・生徒会長)

生徒の緊張をほぐし、リラックスした雰囲気、自由に意見交換できる環境をつくっていただき心から感謝いたします。

本校の生徒会執行部は、葛巻高校の発展を常に考え行動してくれる頼もしい生徒たちが所属しています。懇談会でも様々な意見を積極的に出し、議員の方々と意見交流している姿が印象的でした。生徒一人ひとりが自主的に葛巻高校をより良い学校にしていきたい熱い思いが、議員の方々にも伝わったのではないかと感じています。



鎌田 壮洋先生
(生徒会担当)



議会報告会

ふるさと懇談会

葛巻高校生徒会との懇談の様子

自分の思いを積極的に発言

26年12月16日、葛巻高校生徒会と「ふるさと懇談会」を葛巻高校で開催しました。葛巻生との懇談会は初の試みです。生徒からは議会や町づくりに関する要望や意見が積極的に出され、和やかな雰囲気の中で懇談をしました。主な要望や意見の内容は下の表のとおりです。

議会では町民に開かれた議会を目指し、多くの意見や声を聴く場として、「ふるさと懇談会」を開催しています。新たに町内の各種団体と懇談会を開催し、町政などに対する意見交換をしましたので、その内容をお知らせします。

町民と一体となって 意見を交換!



町女性団体連絡会との懇談の様子

女性の視点で町政に提言

26年12月7日、町女性団体連絡会（柴田幸榮会長）と「ふるさと懇談会」をグリーンテージで開催。約70人の参加がありました。始めに議会の取り組み状況を説明し、事前に質問があった内容に対する町当局の回答を議会から報告しました。

懇談会では、「若い人が取り組みやすい新たな農業振興策を進めてはどうですか」、「まちなか活性化事業に全議員から参加して欲しいです。町民の声を聴くことができる場所だと思えます。」など、女性の視点からの意見などが出されました。議会では、皆さんの声を参考に、今後の町づくりに考えていきたいと思っています。

「ふるさと懇談会」の開催を希望する場合は、議会事務局にご相談ください。

☎ 66-2111 (内線321) FAX 66-2780

懇談会に同席した同校の梅津久仁宏校長は、「町づくりの考えや意見を出してくれて、とても心強く感じました。県や町に貢献できる人材を育成したいと日々思っていますので、生徒をこれからも支えて欲しいです。」と話されました。議会では、皆さんの要望を実現するための方法を、今後一緒に検討していきたいと思っています。



「議会放送は、良い取り組みです」と話す生徒会議長の小向郁美さん(中央)

葛高生からの意見や要望など

- ◇山村留学に期待しています。山村留学が活性化することで、町も葛巻も発展していくと思います。
- ◆ドイツ研修は大変有意義な内容ですので、今後も続けて開催して欲しいです。
- ◇葛高祭に多くの町民の方が来場できるように、町でシャトルバスを運行して欲しいです。
- ◆葛高祭を盛り上げるために町と連携した取り組みがしたいので、町と検討できる場があれば良いと思います。
- ◇地区によって冬場のバイク通学が規制されるので、冬期間だけでもスクールバスを利用したいです。
- ◆屋外で活動するクラブが、冬場でも十分に活動ができる、室内練習場があれば良いです。
- ◇夜間歩行している時に、危ないと感じるときがあります。反射材の使用を町民の皆さんにもっと伝えて欲しいです。



日本語を学ぶ生徒と教職員、議員一行



体育の授業中に笑顔で迎えてくれた中学生

現場視察では、教室、トイレ、地下駐車場などの校内省エネシステムを見学。最後に視察交流を記念し、出席した学校関係者、生徒の皆さんと一緒に写真に収まり学校を後にしました。

省 エネルギーの説明では、和やかな雰囲気の中で、通訳を交えて次のような取り組みが紹介されました。

同中学は、台湾最初の学校省エネシステム導入施設で、台湾政府がその省エネ成果を期待しているとのこと。

システム導入の目的は、省エネ意識と安全確保の向上、そして二酸化炭素排出量の抑制強化で、人が使うところは明るく、いないところは消すという原則のもと、ゆくゆくは各家庭まで普及

学校ぐるみで節約の徹底

推進したいとの説明。校内2千本の蛍光灯照明は全てLED化し、自動コントロールされ、年間の省エネ数値化を図り節約の徹底を学校ぐるみで実施。このような中でも特に女子生徒の安全確保と学校保全には不安が生じないよう万全の対策を講じているとのこと。

エネルギー使用状況を把握し、情報を有効に活用するため自動記録管理方式を採用。この省エネシステムにより60%以上の節約と二酸化炭素排出量は93トンに抑えられるとの説明がありました。

常任委員会研修レポート

台湾 視察



～「金陵女子高級中学」の省エネの取り組み～

○ 主な視察先 ○

- 省エネルギーの取り組み…
金陵女子高級中学
- 葛巻町への誘客活動…
台湾観光・旅行者との懇談
一滴水記念館
- 日本人先人の業績…
烏山頭ダム 台湾製糖博物館
台湾鉄道集集線 台湾新幹線
台湾総督府
- 台湾文化…
日月潭国家風景区
国立故宮博物院 忠烈祠

輝くふるさと常任委員会（鈴木満委員長）は11月18日から11月22日までの4泊5日で、台湾の研修視察を行いました。

今回の研修は、若手県が進める花巻空港定期便就航に向けた「台湾との秋季チャーター便」の利用促進に賛同したもので、台湾から葛巻町への誘客活動を行うとともに台湾が進めるクリーンエネルギー政策をはじめとする産業や文化活動を視察し、今後の交流に大きな期待が持てる研修になりました。

今 回の視察先のひとつは、省エネ実践活動を学校で展開している新北市の私立「金陵女子高級中学」です。

校門をくぐると理事長、校長をはじめ生徒の皆さんから熱烈な歓迎を受け、万国旗を飾りつけた会議室へと案内され着席。始めに、第二外国語として日本語を学んでいる生徒から上手な日本語で歓迎の挨拶と心に響く合唱のおもてなしがありました。

校長の学校概要説明があった後、中崎議長から「東日本大震災で台湾の皆さんからいただいた大きな支援に感謝します。また、葛巻町にある小さな高校では、全国、世界から留学生を募集しています。町の施設などに宿泊してミルクやワイン、クリーンエネルギーの勉強ができますので、この学校からぜひ葛巻高校に来てください」と紹介を含めお礼の挨拶を述べました。

町の「山村留学」も紹介



日本語の歌で大歓迎された議員

今後の交流に大きな期待

台湾 視察



忠烈祠

～ 葛巻町への誘客活動・日本人先人の業績と台湾文化 ～

葛巻町への誘客活動

「行くなら岩手・葛巻」

研修を終えて

朝ホテルから眺める街並みは近代ビルが林立し、大都会の様相。街中のビルや道路沿いに大きな人物写真が、ところ狭しと豪快に掲げられていました。11月29日投票の市長、市議会委員など2万人を選ぶ全国統一地方選挙のポスターと聞き、これにはビックリ唖然としました。

金陵女子中学の視察では、省エネの取り組みにより地球温暖化対策をさらに後押しできることが確認できました。

台湾は、東日本大震災の義援金も200億円以上で世界一の支援国です。それらは台湾の近代化に貢献した日本人、さらには岩手県人の心血が注がれた証であったからこそと思えてなりません。

議会は、この研修を契機に今後ますます花巻空港の定期便就航と岩手と台湾、台湾と葛巻の交流が実現するよう取り組んでまいります。

今 日の台湾の近代化に つながるさまざまな 基盤の整備に、日本人の 活躍がたくさんあること を再認識した研修でもあ りました。

その一人は八田與一技 師です。

八田技師は、台湾の日本統治時代の1920年から10年の歳月をかけて東アジア最大の烏山頭ダムを建設しました。嘉南平野約60平方キロメートルの広大な大地を、台湾最大の穀倉地帯に変えたのです。56歳で亡くなるまでほぼ全生涯を台湾の



選挙の大型ポスターや通勤のバイクで賑わう台中市内

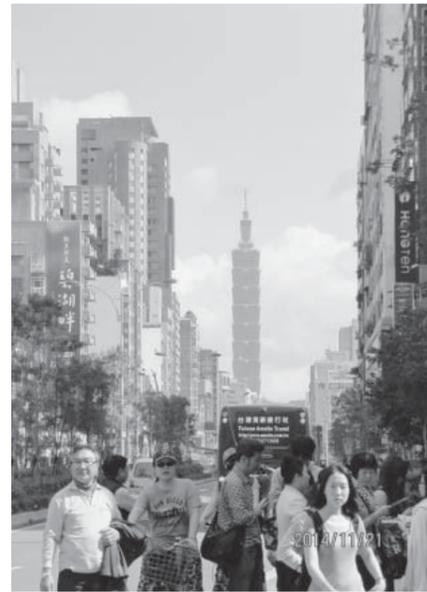
台 湾研修ではこのほかに、日本の新幹線システムを採用して2007年に完成した台湾高速

鉄道や世界4大博物館のひとつ故宮博物院など多くの台湾文化に触れた研修となりました。

多くの台湾文化を経験

造の業績を紹介している博物館を視察。新渡戸稲造は、同じ岩手県出身の台湾総督府の後藤新平民

生長官から招かれ、製糖指導により砂糖を台湾の最重要輸出品にまで成長させた人です。



大きなビルが林立する台北市中心街。奥は台湾で一番の高層ビル101。

台湾の近代化に寄与

ために尽くしたことで、最も知られる日本人と言われている。

台湾製糖博物館も日本人と深い関わりのあるものでした。

台湾の製糖発展に功績のある台湾総督府臨時糖務局長であった新渡戸稲

旅行・観光関係者と交流

今 回の視察で最も力を入れたひとつは、台湾の旅行や観光関係者との意見交換会です。

台北市にある大手旅行業者や日本から現地に赴いている台湾支店の職員など8人に集まっていたきました。

鈴木満議員と山岸はる美議員が葛巻町の取り組みや観光スポットを紹介。「ミルクもワインもあれば、クリーンエネルギー

もある葛巻にどうぞいらっしやい」と締めました。

参加者の假日旅行社股份有限公司の王振銘理事長は「台湾からの旅行者は、中国に次いで日本が2番目に多い。行くなら日本」と人気の高さを紹介。交換会を企画運営した日盟国際商務有限公司の黄玉雲さんも「多くの観光資源とエネルギーがある葛巻町へ案内してく



台湾の関係者に葛巻町を紹介する鈴木・山岸両議員

高らかに呼びかけました。参加者は日本語もうまく、気軽に会話ははずみ、岩手と台湾、葛巻町と台湾の交流が始まることに大きな期待が寄せられました。

町のエネルギーを紹介

淡 水区和平公園内にある「一滴水記念館」を訪れました。

この施設は、福井県大飯町に1915年に文豪「水上勉」の父・覚治が棟梁として自ら建築した木造の古民家を移築したものです。

阪神大震災と台湾の921震災の大地震をきっかけに、台湾と日本の約5000人のボランティアの助けを借り、5年の

歳月をかけて完全移築された施設です。台湾と日本の思いが詰まった施設でした。

また、当日は台湾の皆さんが大勢集まっていた中、館長からの要請で、急きよ中崎議長が本町のクリーンエネルギーの取り組みを説明することに。多くの質問が出るなど深い関心を寄せていました。今後の交流が期待される交流会となりました。

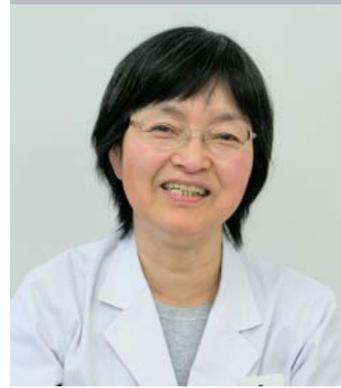
日本から移築された古民家「一滴水記念館」



インタビュー

町立葛巻病院副院長

やまさき **山崎** みやこ **都** さん (63歳)



地域医療の貢献に強い思い

Q. 自己PRをどうぞ

昨年の8月1日から葛巻病院の副院長としてお世話になってます。内科医で、呼吸器、老人病学や漢診療学が専門です。

仙台市の東北大学病院などで勤務していましたが、冷涼な地方で地域医療に従事したい思いから、町づくりを前向きに考えている葛巻町を選びました。

島根県出雲市の出身です。趣味は山登りや旅行で、中国やラオスなど、アジアの地域を旅行することが好きですね。

Q. 葛巻町の印象は

とても自然が豊かで、袖山高原や七滝など景色が素晴らしい

場所がたくさんありますね。特に上外川高原の風車の風景が好きです。

町民の皆さんはとても穏やかで、やさしい方が多い町だと感じます。

葛巻の牛乳がとてもおいしいので、こちらに来てからたくさん飲んでいきます。春になったら、葛巻産の山菜を食べることを楽しみにしています。

Q. 葛巻病院での役割は

患者さんの症状にあった医療を提供することや、高齢者の患者さんが多いので薬の過剰摂取にならないように心がけています。

酪農家も多いので、できるだけ患者さんの都合にあわせた診察に配慮しています。

Q. 皆さんにメッセージを

冬の寒さが厳しいと思います。が、雪道に気をつけてお過ごしください。

表紙 (葛巻町柔道協会の皆さん)



葛巻町柔道協会は幼児から大人まで、毎週土曜日に社会体育館で練習を行っています。

第27回葛巻町柔道選手権大会が、昨年12月7日に社会体育館で開催されました。葛巻町のほか、近隣市町村の小中学生ら、団体戦18チーム、個人戦133人の参加による大会です。本町からは小学生2名が個人戦に参加し、熱戦を繰り広げました。

【表紙：練習前の葛巻町柔道協会の皆さん】

情報公開

議長が議会の対外的活動をするための経費が議長交際費です。各団体の総会、式典の会費が主なものです。

10月	34,000円	(葛巻小学校創立140周年記念式典ほか)
11月	33,000円	(全国消防操法大会出場分団激励会ほか)
12月	25,000円	(自衛隊父兄会葛巻町支部忘年会ほか)

次の定例会議は **3月6日(金)**です。

編集後記

議会では総合条例を定め、通年の会期制の導入や参考人招致など新たな取り組みを始めています。

11月には県が進めている、花巻空港から台湾への直行便を利用して視察研修に行きました。葛巻町と台湾の交流が始まることと期待できる、有意義な研修でありました。

新年が皆さんにとって、幸多い年になりますように念願しております。

広報常任委員会

委員 辰 柳 敬 一